特別特集

平成27年
9月24日

徳島大学病院 新外来診療棟開院

徳島大学病院長
安井夏生

徳島大学では医療の高度化に対応するため、平成7年より病院の再開発計画を進めてきました。これまでに、東病棟、中央診療棟、西病棟が完成し、このたびの新外来診療棟の完成により、足掛け20年にわたる再開発計画は完了となりました。

新外来診療棟は鉄骨造5階建て、1階から3階は医科外来部門、4階は歯科外来部門と手術室2室、5階は日亜化学工業株式会社ご寄付によるホールと管理部門となっています。これまで別々の建物にあった医科・歯科診療部門が一体となったことで、今後より一層の連携強化が期待されます。外来診療棟1階には患者支援センターがあり、入退院の手続きや紹介状の受け渡し、栄養指導、各種相談を集約し、ワンストップサービスを行います。また郵便局や銀行ATM、喫茶店、うどん店、コンビニなどもあり、待ち時間にはおくつろぎいただけると思います。徳島大学病院は県下唯一の特定機能病院として、患者の皆様に最先端の診断・治療法を安全に提供することを使命としています。「地域に根ざして世界にはばたく」を合言葉に「目の前の患者さんを治すにはどうすればよいか」を常に考えながら、今後も努力を続けて参ります。

↑外来診療棟開院式典の様子

↑各種手続き窓口が集約された患者支援センター

↑旧外来棟の東側に建設した新しい外来診療棟

↑開放的な空間のアメニティテラス

↑パステルカラーで統一された明るい外来診察室

徳島大学病院の最新治療がわかる本

現場で実際に診療や看護にあたっている医師・看護師・技師たちが、県下唯一の特定機能病院である徳島大学病院の最新の治療法について、図や写真を使って分かりやすく解説しています。

■徳島大学病院 編著 A4判／208ページ
定価1,800円＋税　発行:バリューメディカル
発売:南々社 ※県内主要書店、院内売店で発売中